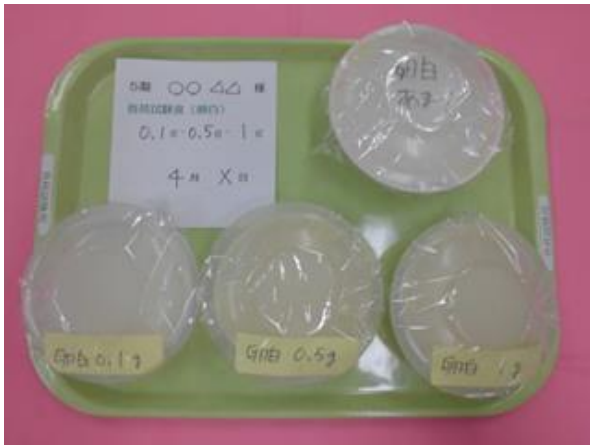


入院食物経口負荷試験の栄養相談の流れ

【午前入院の場合】

食物負荷試験食品



ゆで卵黄・ゆで卵白・うどん・牛乳は、病院で準備します。それ以外の食品の場合は、ご持参ください。食べやすいように、調味料やのりなど、普段食べてるものもご持参ください。



昼食の献立調整

アレルギー除去食品の確認と未摂取食品の確認を行い、安全に食事提供の準備をします。

負荷試験終了後

家庭での練習方法や範囲内のアレルギー食品の摂り方、加工品の目安など資料を用いて説明します。除去食品の代わりにの食品や調理の工夫、食品表示の見方や注意点など、食事や栄養について相談します。

食事日誌(例)



※食べられる食品を症状が出ない量で食べて、どのような食品をどのくらいの量、週に何回食べたかを日誌に書いてみましょう。(症状が出た場合は備考欄に記入。)

※食べてみる食品と摂取量は、医師と相談して決めましょう。

食物	食品	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (土)	/ (日)	回/週	現在摂取できている量
卵	カステラ	1口							1	カステラ 1口
	プリン			1さじ			半分		2	プリン 半分
	ロールパン				半分			半分	2	ロールパン 半分
小麦	食パン6枚切	半分					半分		2	食パン6枚切 半分
	うどん			1/4玉		1/4玉			2	うどん 1/4玉
乳	ヨーグルト	3さじ			3さじ				2	ヨーグルト 3さじ
	牛乳		20ml			10ml			2	牛乳 10ml
大豆	豆腐	2口		2口			2口		3	豆腐 2口
備考			牛乳20mlで口の周りに尋麻疹。1時間で消えた		鼻水・咳	鼻水・咳	プリンを半分食べて、すぐ吐いた。			



☆☆ 食品摂取日誌 年 月 ☆☆

名前

*エビパン処方(あり・なし)

日	食品名	摂取量	誘発症状 (全身・呼吸・消化器・ 眼口鼻顔面・皮膚など) があれば、具体的に記入する	症状の強さ (症状対応の一覧表参照)			自宅での観察表 (筆跡を記入) 使用したら ○印つける
				緊急性高い	中等度	軽度	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							

【午後入院の場合】

食物負荷試験に必要な食品は、ご持参ください。負荷試験終了後の栄養相談のみ行います。